

地域おこし協力隊だより

過去の記事はコチラ!



現在、高梁市では10名の地域おこし協力隊員が活動しています。
 今月は5名の隊員の活動についてご紹介します。



しか まさお

志鹿優生 大阪府出身

【ミッション】

多文化共生のまちづくり
 日本語教室、国際交流



～英語で話そう! in TAKAHASHI～ 「Let's enjoy English!」



高梁の皆さん、こんにちは。今回は、英語のイベントをご紹介します。

7月6日、高梁市役所、集まった市内の中学生…、と詳細をご報告したいのは山々
 なんですが、実は、この原稿を書いている今日は、まだ『6月20日』……

ただ、この企画を是非、お伝えしたく、また、次回掲載のタイミングも紅葉の頃にな
 りそうなので、無理を承知で筆を執ります。

さて、「時を早送り」。市内中学生を対象に、ネイティブスピーカーの先生たちと
 英語をどんどん話して、いっぱい聞いて、英語力上達を目指す、おススメの催しです。
 勿論、無料! 違う学校に通う仲間たちと他校間の交流が図れるのも魅力の一つ。

プログラムの内容は、学年や人数でアレンジを加えるため、これからが大詰めです
 が、概ね、こんな感じです。

【お題：外国から友達が岡山、高梁にやってきました。あなたならどこへ連れて行き、
 どんな美味しいものを食べて、何を紹介しますか? 英語でご案内! 英語でデート!!】

どうでしょうか? 実際の内容は当日のお楽しみ★ 面白いプレゼンには景品も🎁

最後に、こう思うんです。外国語習得(中でも話す力)の鍵は、ミステイクを恐れず、
 間違っても恥ずかしがらず、どんどん話す。ジェスチャーもOK。とにかく、ハート
 (心)、ガッツ、全身で伝えることが大事なんだと。

今回のイベントでその肝っ玉とチャレンジ精神を頑張っ一緒に養っていきましょう。
 そして何より、楽しみましょう! 「Let's enjoy English!」



～英語で話そう! in TAKAHASHI～
 「Let's enjoy English!」

日本語が苦手なネイティブスピーカーの先生たちと一緒に英語を楽しもう!
 いっぱい聞いて、どんどん話して、クンクン上達! 5399(mistake)OK、
 他校の中学生と勉強相手、友達の輪を広げよう!

■日時 2025年7月6日(日) 13:30～16:30
 ■場所 高梁市役所3階大会議室
 ■対象 市内中学校1年生～3年生、商業学校7年生～9年生
 ■内容 グループに分かれ、レッスンプラクティスを楽しみます。
 (例) 外国から来た友達に招待状を書いてもらう。来たならどこに連れて行く。
 (例) 友達から来た友達に招待状を書いてもらう。来たならどこに連れて行く。
 (例) 外国から来た友達に招待状を書いてもらう。来たならどこに連れて行く。
 (例) 外国から来た友達に招待状を書いてもらう。来たならどこに連れて行く。
 ■申込方法 学校のクラス担任の先生に申し込んでください。
 ■申込締切 2025年6月18日(水)まで
 ■参加費 無料

【主 催】高梁市地域おこし協力隊 志鹿 優生 高梁市国際文化交流委員会
 【協賛先】高梁市役所 秘書企画課 TEL(0866)21-0208



ふじはらけいか

藤原恵佳 鳥根県出雲市出身

【ミッション】

吉備国際大学シャルム
 スポーツ振興

「夢への扉 (ユメトビ) !!」

今年からスポーツ振興課の事業として始まった「夢への扉 (ユメトビ)」とい
 うプログラムにアシスタントとして参加しました。元五輪陸上代表の齋藤愛美さ
 さんが講師を務め、生徒たちに自身の経験を語りかける特別な授業です!

今回は高梁北中学校にお邪魔しました。

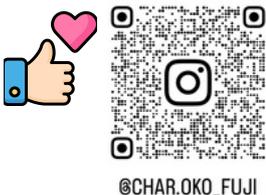
まずはじめに、体育館でボールを使ってアイスブレイクを行い、最初はなかな
 か成功しなかったことも、話し合いを重ねるうちに成功体験を積み、チームとし
 ての力が高まっていくのを感じました。

座学では、齋藤さんの競技人生に圧倒されるとともに、生徒たちのまっすぐで
 素直な姿勢に驚きました。

大人になると夢を語ることに照れくささや遠慮が出ることもありますが、この
 時間は「夢を持つことの大切さ」を改めて実感させられました。

生徒たちがトップアスリートと触れあえる、本当にいいプログラムでした。

こうした体験を通して、もっと多くの子どもたちがスポーツに関心を持ってく
 れたらうれしいです。



地域おこし協力隊だより

過去の記事はコチラ!



現在、高梁市では10名の地域おこし協力隊員が活動しています。
今月は5名の隊員の活動についてご紹介します。



あおやまみさと
青山美里 埼玉県さいたま市出身

【ミッション】
吉備国際大学シャルム
広報 (SNSによる情報発信)

「高梁人図鑑」第一号 noteに投稿しました!

前回の協力隊だよりでは、「高梁で暮らす人を知ってもらう“人図鑑”を作るために勉強中です」と書かせてもらいましたが、ついにその第一歩を踏み出しました!

第一回の取材相手は、空き店舗だった場所を地域の中高生と一緒にリノベーションし、地域の居場所「ニューエスカ」として生まれ変わらせた矢動丸祐子さんにインタビューしました。高梁との関わり方、「ニューエスカ」に込めた想いについてじっくりお話を伺いました。「どうせやるなら“関わった人の場所”にしたいよね」という想いから、中高生たちと一緒に作ったそうです。

「『ここ、私たちの居場所なんよ』って言ってくれるようになったんです」と話す矢動丸さんの言葉には、居場所づくりを通して築いた“地域とのつながり”があると感じました。インタビューの詳しい内容は、noteに投稿しています!

今後も様々な高梁に住む魅力ある人に取材し、投稿して行こうと思います!

ぜひ、チェックしてみてください!

右下のQRコードを読み取ってnote読んでみてください!



やだ りな
矢田里菜 青森県八戸市出身

【ミッション】
SNSによる情報発信促進と
地域住民との
共創によるまちづくり

歩いて伝えたくなるまち、高梁



日差しが強くなり、夏の気配を感じるこの頃。暑さのなかでも、ふと足を止めてみたくなる景色に出会えるのが、高梁のまち歩きの魅力です。

最近では、県外から訪れた友人を案内することもあり、備中松山城の眺めや吹屋の赤い町並みに、感動の声があがりました。そんな反応にふれるたび、「ここをもっと案内したい」と感じます。

6月14日に開催された「わくわく子どもフェスタ2」では、観光協会ユース支部の皆さんと協力しながら、地域の方々や子どもたちとふれあう機会を持てたことで、高梁の“人の魅力”を肌で感じる時間となりました。

協力隊のInstagramでは、そんな日々の一場面を発信中。誰かが「行ってみたいな」と思えるようなきっかけになればうれしいです。

＼情報発信の相談、大歓迎です!／

takahashiyada22@gmail.com



協力隊の活動Instagramも
ぜひチェックしてくださいね!



TAKAHASHI_KYORYOKUJAI

協力隊としての活動も残り2ヶ月に



みやざきかずや
宮崎知也 岡山県岡山市出身

【ミッション】
・ICTを活用した医療介護現場
の労働環境改善
・福祉活動の活性化

地域おこし協力隊として高梁で活動してきた日々も、気づけば残すところあと2ヶ月となりました。このまちでたくさんの方と出会い、学びながら、地域の中で挑戦を重ねてきた時間は、私にとって本当にかげがえのないものです。介護や福祉の分野を中心に、試行錯誤しながら地域に関わる中で、あらためて「人と人のつながり」の大切さを実感することができました。支えてくださった皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。協力隊としての任期は終わりますが、高梁を離れるつもりはありません。これからは「起業」というかたちで、活動を継続していきます。引き続きこのまちを拠点に、岡山圏全域、そして全国へと、介護・福祉DXの推進に関わっていきたく考えています。まだまだ小さな一歩かもしれませんが、「介護」や「福祉」といった分野を、「ICT」の力でより良い方向へ支えながら、地域の皆さんと一緒に、“持続可能でワクワクする未来”をつくっていかれたらと思っています。

地域おこし協力隊の卒業は、一区切りではありますが、私にとっては新たなスタートです。これからも変わらず、高梁の一員として歩んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

